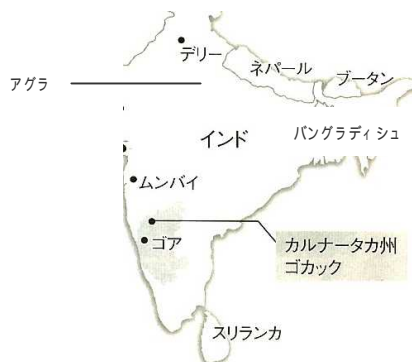


# UNESCO青年交流信託基金・ユーススタディツアー in インド



UNESCO 青年交流信託基金\*1 によるユーススタディツアーが3月26日～4月8日の2週間、インドで実施され、全国のユネスコクラブ・協会から推薦を受けた20名の高校生・大学生、社会人が参加しました。

一行は、2回にわたる事前研修会後、3月26日インドへ向けて出発。カルナータカ州ゴカックで世界寺子屋運動による支援地を見学し、現地パートナーであるベルガウム農村総合開発協会のスタッフや寺子屋で学ぶ大人や子どもたちとの交流を通じ、現地の生活や支援の現状に関して理解を深めました。参加者の一人は、寺子屋での識字教室や女性グループの活動の成果を見聞きして、「今まで勉強は自分のためにすることだと思っていたが、勉強することは社会に貢献することだったんだ。」と学ぶことの意味を再認識していました。



また、「デリーのフマユーン廟」や「タージ・マハル」(アグラ)などの世界遺産登録地ではインドの伝統に触れ、「世界遺産を見て人間の英知を感じることができた」と参加者の一人はその感動を言葉に表していました。さらに、福祉大学(カルナータカ州ゴカック)やUNESCO協同学校の高校(ハリアナ州グルガオン)では学生との交流会を行い、インドユネスコクラブ連合からはインドの民間ユネスコ活動について学びました。

今後は、各個人が所属するユネスコ協会などで、当スタディツアーの報告会が開催される予定です。

## \*1 ユネスコ青年交流信託基金によるユーススタディツアーとは

世界の学生・教員などを対象に相互交流を推進し、国際理解を深めることを目的として、日本政府の拠出金を基に設立されました。「UNESCO 青年交流信託基金」の委託を受け、日本ユネスコ協会連盟では青少年の育成を目的に2002年度より毎年実施しています。2006年度は、8月初旬ベトナムにて実施する予定です。

今回のユーススタディツアーの報告書は、後日ホームページ上にUPいたします。

2004年度ユーススタディツアーの報告書はこちら

<http://www.unesco.jp/contents/communication/studytour.html>